

# 事業計画書

事業名	不登校の理解を深める本の作成と配布
団体名	不登校問題を考える東葛の会『ひだまり』

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。
  - ・松戸市内の中学校1クラスに1名不登校の子どもがいる割合。多くの子どもが「学校に行きたいのに行けない」事で苦しみ、その親も苦しんでいる。また、学校に行っても悩みを抱えている子どもは多い。
  - ・子どもの苦しみを理解し、子どもの声に耳を傾ける事が大切だが、それを抜きに親や先生から無理に学校に行かされ、精神的に追い詰められ、回復に時間がかかるケースが実に多い。
  - ・『不登校の子どもが元気になって行く筋道』を学校・親・地域に広めたい。

○ 2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- ・孤立してしまうのではなく、人と人がつながりあえる地域に。
- ・悩み・苦しんでいる時、どこに相談に行ったり、つながって行くと良いかわかる地域に。
- ・子どもや親の悩みにじっくり耳を傾ける、学校・地域に。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

- ・不登校体験をした子どもや親の体験記を本にまとめ、学校・PTA・相談機関・地域に配布、広め、読んでもらい、『元気になって行く筋道』の理解を広める。
- ・出版記念講演会を計画し、参加してもらいながら、相談機関や親の会などにつながって行けるようにする。

○ ・想定スケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	本の編集会議、計画づくり。 交流会・講演会を行い、会員・市民の声を聴く。  原稿を募集する。	会員や市民、行政・相談機関などに本を出版する意義を訴えながら、交流する。  編集会議参加・原稿依頼など訴える。
7月～9月	原稿を検討する。  割り付けやカット、装丁等を検討する。	執筆者と話し合い、原稿の内容検討し、加除修正をおこなう。 A5判、80ページを想定。 編集会議で知恵を集める。

10月～12月	印刷所に発注する。3週間で完成するとの事。 学校PTA・相談機関、その他に配布する。 会員を中心に購入してもらう。	1000部作成する。  配布対象を検討し、実施する。  500円×200冊＝10万円の販売を想定する。
1月～3月	出版記念講演会（事業終了後の6月実施予定）の内容検討。 事業報告書を作成する。	マスコミ・ミニコミにもこの取り組みを紹介してもらい、広める。

#### 4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

- ・『不登校体験をした子どもや親の体験記』を1000部作成する。  
（A5判、80ページ、原稿執筆者子ども・親10人～15人を想定）
- ・行政・学校・相談機関（市教育研究所、千葉県親と子のサポートセンター、健康福祉センターなど）と交流しながら、本の構成・内容等検討する。
- ・講演会・交流会を開きながら、どんな内容の本にするか、検討し合っていく。
- ・そのうち500部を学校（職員用図書・長欠担当・養護教諭等）、PTA、社会福祉協議会、大学、相談機関、ボランティア団体などに寄贈し、趣旨を理解してもらい、読んでもらうようにする。
- ・会員や東葛の会交流会（親たちの会）参加者に趣旨を訴え、この本を購入してもらい、会財政からの出資分を確保する（500円×200部＝100,000円）
- ・残部300部は、その後の希望者に渡す事が出来るようにする。

#### 5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・平成24年6月（助成金終了後）に、出版記念講演会を開き、不登校で悩んでいる親たちをふくめ、学び合い、つながりをつくる活動をおこなう。
- ・東葛の会・子どもの居場所『ひだまり』の活動を紹介したり、千葉県子どもと親のサポートセンターをはじめ他の相談機関なども紹介して行く。
- ・大学の研究室、学校の先生、スクールカウンセラーや養護教諭などとも連絡・つながりが広がるようにして行く。
- ・子どもの居場所『ひだまり』を財政的に支える『ひだまり賛助会員』を50名にまで増やしていく。（現在20名くらい）
- ・その次には、どんな内容の本や小冊子を発行する事が出来るか、検討して行く。

## 事業の予算計画書

### 【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	本の販売収入	100,000円	500円×200冊=10万円
	自己資金合計(a)	100,000円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
	収入合計(c)(a+b)	200,000円	✓

### 【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

### 【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	本の印刷製本費	150,000円	本の印刷製本
	通信費	20,000円	募集のお知らせ、本の送付
	消耗品費	20,000円	パソコンインク、封筒、紙
	対象となる経費合計額(d)	190,000円	✓
その他	スタッフ飲食費	5,000円	
	スタッフ交通費	5,000円	
	その他経費合計額(e)	10,000円	✓
	事業費(f)(d+e)	200,000円	✓

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にしてください。